



編集発行 羽津北小学校部  
PTA広報  
印刷 阿竹印刷工業(株)

第 35 号



# 青空・森林・キャンプファイヤー

## 自然教室の思い出

五年 六代 智子

### たのしかった遠足

四年 辻 けい子



天望台にて

10月26、27日、二日間グリーンスクールに行きました。その中でも、キャンプファイヤーが一番楽しかったです。レク係なので、じゅんぴをしました。私は、ちかいの言葉をいって、火をつける役でした。夜になって、すぐきんちようしたけど、だいじょうぶとも思っていました。

10月26、27日、二日間グリーンスクールに行きました。その中でも、キャンプファイヤーが一番楽しかったです。レク係なので、じゅんぴをしました。私は、ちかいの言葉をいって、火をつける役でした。夜になって、すぐきんちようしたけど、だいじょうぶとも思っていました。



ヤッホー、ピース

今日、遠足でした。電車でかすみがうらから乗るときは、まんいんでした。四日市駅からもまんいんでした。いせわか松からは、すわれました。わたしは、電車の中でねむたくなりました。それをがまんして、ねませんでした。

電車からおりて、歩いていく時は、すぐきんちよう。わたしと天野さんと岩谷さんは、「まだかな。まだかな。」と、何回も言っていました。かんばんが見えたなと思ったら、「すぐか青少年センター」のかんばんでした。次に見えたのは、ちゃんと「青少年の森」と書いてあったので、急に元気が出ました。青少年の森に着いて少ししたら、おべんとうにしました。おやつを先生とかがえこした時、十円と五十円でかえました。わたしは、とくをしました。

小さなアスレチックがあつて、わたしたちが行くと、たくさんの子たちが来ていました。アスレチックから帰って来た時、女の子が手打ちをやっていたので入れてもらいました。わたしは、一回打って一るいまでしか行きませんでした。帰りはぜんぜんえらくなかった。

男

女

# 今年も咲いたドリ三の輪

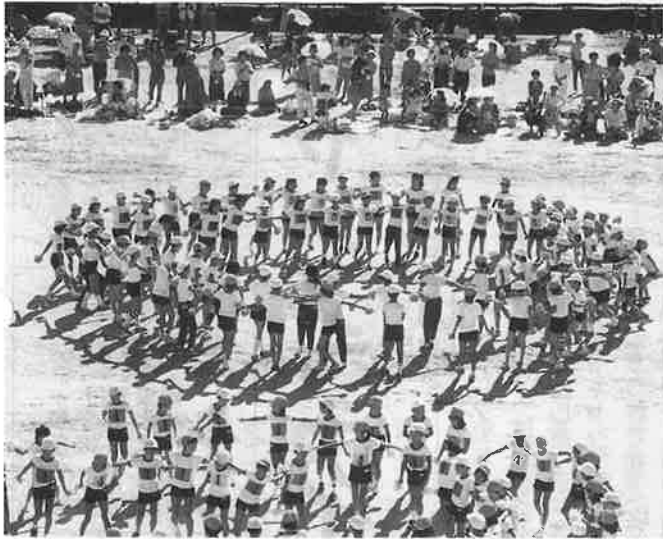


## 電波ジャックに お手上げ

楠木 信久

前日までの雨が、まるでうそのように空はコバルトブルーに染まっていた。澄み切った秋空の下で運動会が行われることとなった。放送の係としては、朝早くからマイクのセッティングやポリウレム調整で大忙しとなった。マイクテストを終え、準備万端で運動会の始まりを待った。ここまでは、順調だった。

ところが、月にむら雲、花に風の如く、予期せぬアクシデントが起こった。突然、ラジオの放送が入ってき



たのである。どこをどう捜してもラジオのボタンを入れていない。

「アンプの故障か。否、そんなはずはない。原因不明。ラジオのアンテナの接続部分も切った。それでも入ってくる。原因が分からないだけに、イライラしてくる。」近くの家で無線をしているのでは。

それとも、カー無線の影響か。と考えていくうちに、次第に腹が立つてくる。「天皇が病気の時に運動会を行っていることへの右翼のいやがらせか。腹が立つが、どうすることも出来ない。どうすることも出来ないから、よけいに腹が立つ。」「社なんぞの安物の設備を入れるから、こんな事が起きるんだ。」と怒りのほこ先がメーカーに向けられる。とにかく、

参った。

後で、学校に出入りしている業者「なんとかならないものか。」と聞いたところ、「運動会に出したコードがアンテナの役目をしてしまうので、どうにもならない。」と言われた。雨が上がって晴れた日には、特に民放の電波の影響を受けやすいそうである。運、どうかいっ運が悪すぎたよつである。

## やったぜ! ピラミッド

### 思い出の運動会

六年 竹内 基祐

ぼくは、運動会の前日はあまりねられません。いよいよ明日が運動会かと思うとあまりねむれなかつたのです。朝になつて学校の方を見ると旗が上がつていたので、とうとう小学校最後の運動会だなあと思いました。

学校へ行くと、もうみんな来ていて、「多分、赤組が優勝やな。」とか「青組の方が絶対に強いわ。」などと、いろいろ聞こえてきました。ぼくは黄組だったから、今年は何んとか黄組が勝ちたいなあと思えました。初めの行進のとき、毎年よりあんまり見ている人たちが多くないせいか、いつもよりきちんちようしませんでした。

六年生が出る競技は五つで、ぼくが一番心配したのは組立て体操でした。でも、とう立をしたら、そのうちもすくなくなくなりました。



体がいつもよりかろく感じました。それがよかつたのか、すべての演技が成功しました。

閉会式のとき、黄組は三位のたてをもらいました。

側メートル走はだめだったけど、人生ゲームは一位だったし、組立て体操も成功したので自分でもがんばつたなあと思えました。



はしれ! はしれ!

# たくましくなつた一年生

## がんばったよ、たのしかったよ

▼ ほしのこさんばのおどりをともやくんとおどりました。たまいにのたまがおなかにあたりました。

▼ 50めいこのそつごのとき、二ハミのすきともかすくんにぬかされてはくは二二つになつたけどおもしろかつたよ。おうえんのとき、「フルーフレーあかへみフルーあかへみフルーあかへみフルーあかへみわあ。」といいました。

▼ にめうじやうするときわたしは、げんきにあしをぶつていました。そつごにまつすくあるきました。わたしは、こつちようせんせいのおはなをいっぱいききました。



▼ 50めいこのそつごのとき、はじめおそかつたけど、すくんに二ハミのこをぬがして二二つになりました。

▼ かけっこで二二つを二二つとおもつたのに4二つになりました。ちからいっぱいはまりました。

▼ ど、まえのふたりはぬかしませんでした。2ねんせいはい二つをとります。

▼ ほくは、二二つになれるように、とおもいました。はいつたり二二つでした。うれしかったです。

▼ びりになつてくやしかつたです。くしがぬけてそのままいことおもつたらうけそつてた。

▼ ほしのこさんばのおどりのれこつごがかかつてから、まるになるころがちよつとおそへなつてしまいました。さいしよはてをつないでまわるころがでなかつたけど、うんべつつかいるときはじやうぶいきました。

▼ 50めいこのそつごのとき二二つになるとおもしろかつたのに、二二つでした。それでつまんなかつた。いやだつた。



### 二泗陸上記録会

二泗陸上記録会は今回で19回目を迎えました。これは、各校の陸上競技の得意な子を一同に集めて記録を競う大会です。今回は走幅跳で園さんが六位入賞を果たしました。参加選手は以下の通りです。

100m走	細見鉄平	伊藤典史
	市川 誉	葛西功平
	田中路乃	坂中友紀
	田中香織	平野裕久美
走高跳	村上裕也	平井義輝
	若林里美	安田奈央
走幅跳	服部 拓	森 真一
	園 杏子	川口知己

#### 六の一園 杏子

陸上競技会で、私は、走幅跳びと四百メートルリレーに出場しました。

走り幅跳びで、二百七十四センチを跳んで、六位に入賞できました。走り幅跳びは、練習のときより10センチも多く跳べました。跳ぶときに、地面がぬれていたのでもうまくとべるか心配でした。私は最後から3番目でした。順番が近づくと、すく緊張しました。足ががたいような感じで、とべるか心配していました。しかし、呼ばれたときは、あまり緊張していませんでした。走っていく途中、いつしようけんめい歩幅をあわせていました。二回目に、二百七十四センチとべました。次は、リレー

だつたので、着がえに行つたら、名前を呼ばれました。表彰台のほうへ行きました。そのときは、何も思つていませんでした。表彰状をわたされたときに、六位だけですごくうれしく思いました。「家に帰つたら自慢できるな。」と思つていました。

帰りの電車の中でも、お田さんやお父さん、弟がなんていうかなと思つてずっと考えていました。帰つてからみんなに言つたら、「お父さんもお田さんも」「すごい。」とか、「よかつたね。」とかいってくれました。

また、こういう機会があつたら出場して、がんばつてみたいです。

### 前半のリードを

#### 守りきれず

##### 地区運動会リレー

十月二十三日(日)、秋晴れのもとでの地区運動会。本校PTAの団体別リレーに参加。過去の成績は七位、五位、三位と年々上がり、今年は優勝、悪くても二位とプレッシャーのかかる悪条件。しかし、若い山中先生を強力助っ人としてメンバーにスカウトした作戦がみごとの中。第一走者の先生は並ぶ強豪を後目にトップでバトンタッチ。第一走者以下に期待が集まりましたが、先生のかせいで蓄えはどんどん目減り。結果は五位(四位だったかも知れません)。現実はいやありませんでした。

## わが家の秋

### 私の美味獲得法

安藤 博

秋は気候が良く、空腹を覚える季節、旬の物が多く美味しい物が食べたくなる季節です。ではここで、私がうまい物を食べる為に心掛けてる事を述べます。

①高い物が安い物を食べる。  
料理屋で松竹梅定食があれば松か梅を食べる事です。またもな店であれば一般的に安い物程買い得食べ得です。値段が二倍であれば味品質が倍になる事は有り得ないはずで最高価格品を選ぶのは気持の問題が大きいに思っています。  
新しい店を見つけたら、まず一番安い物を見て見て美味であれば次に最高の物を食べて見る事です。安い物がまずい店で、一番高い物に美味しい物があるはずがないのです。  
②お推し品のある店に行く。  
寿司屋に行つてカウンターに腰をおろすと「今日は赤イカの良いのがあるよ。」と声を掛けてくれる。こんな店を知っていると安心して食べられます。又、良心的な店は品数が少ない。特に専門店では品数が多い店はまず止めたい方がいい。ついで有名な四国讃岐(香川)地元で美味いと言われる

Р 335033333333

店のレパートリーは4〜6品の処が多い。

③旬の物を食べる。旬の物はその季節で最も美味しく。安い。

④女房に美味しい物を食べさせるといって、その魚に何十年も食わしてもらうにはそうもいれない。美味しい物が食べなければ、まず料理を作る女房に美味しい物がどんな物であるかを教える事が第一である。但し、これはあくまでも家庭料理を作る奥様の為であることをお忘れなく。

最後に一言、この週末に外食を予定されている方へ。

ファミリーストランに行くのは①安くはない、美味くない。②何を食べても印象に残らない。当然おすすりめ品はない。③旬の物を生かす工夫がない等の理由からよしませう。外食と言えばファミリーストランという環境で育つた子供達に、四季の味わいを持った日本の食文化はまかせたくありません。



### さんま御飯とトブアルチゲ

森 小夜子

秋といえばさんま。さんま、さんま、さんまは苦いか、塩っぱい。さんまは、最高にうまいんです。今日は、我が家で好評のさんま御飯と、心まで温まる鍋物を紹介いたします。さんま御飯は、「青魚はニガテ」という人までおかわりをする事、請け合いです。そして、鍋の方は、韓国料理のトブアルチゲです。とても日本的でどなたでも好まれています。その上簡単なのが魅力。

今年が冬が早く到来する様です。今夜は、あなたも温まってみませんか。

#### さんま御飯

##### ＜材料＞

- 米…300g ●さんま…2尾 ●ネギ…80g ●しめじ…1パック ●人参…小1 ●生姜…小1 ●酒…50cc ●しょうゆ…大さじ2 ●さとう…小さじ1

##### ＜作り方＞

- ①米は洗って30分ザルに上げて、調味料と水を加え煮ます。
- ②さんまはこんがり焼き身をほぐして酒少々ふりかけておく。
- ③ネギは斜め干切り、しめじは洗って株をわけ人参と炒めます。人参はささがきして軽く炒め、生姜は針生姜にする。
- ④はんがふいて来たたら、さんま、



三泗田女の会パネルディスカッション

### 三泗田女の会に参加して

参加して

「働きに出たが許されなかつたので、育児の合間に、趣味にボランティアにと活動すること、自分の生活を見つけた。」というAさんの話で、分散会は始まりました。仕事を持つ人は誰もが、働くことに張り合いをもち、家でのわずらわしさを忘れさせてくれる「自分の時間」と感じていることを話してくれました。けれど、それは違つた、自分の時間を自分で作り出しているAさんの生活も「すばらしい」と、みんなが感じました。中でも、

「仕事をしているからこそ、自立できないでいる気がする。仕事場

#### 箱庭完成

#### 「伊勢平野」

ご存じですか。小さな箱庭の完成したことを。それは普通校舎と特別校舎の間・渡り廊下の西にあります。この完成には短からぬいきさつがあるのです。

本校の誕生日、児童校(羽津小学校)は創立百年を迎え、記念行事のための募金活動が行われました。幸い地域の理解を得て多額の寄付が寄せられ、その一部が、本校創立後の環境整備にと分与されました。東側校門周辺や体育館南にある築山は、このときの蓄えに負っています。

これら以外にも、後世まで形が残るものに、あるいは必ずしも形をとどめないものにと、先の蓄えが使われてきました。その結果残りも少なくなり、また年月と共に蓄えに関するいきさつを正確に知る人が減っていくことを考えて、六二年度役員会で、残金全額を費やして箱庭を造ろうと決定し、今回の完成となったわけです。

ささやかな箱庭ではありますが、いくらかでも学校に潤いを与えてくれるのではないのでしょうか。

# 専門部紹介

## 学年部

部長 森 真由美

本年度、新しい学級委員会の学年部としてスタート致しましたが、どの様に活動してゆへべきか手探りの状態で部会を開き討議し、無我夢中で、一学期、二学期の懇談会を開催する事が出来ました。

一学期は、高・中、低学年別、二学期は全学年同時で行いました。各学年に合った「テーマ」を決めテーマより始まり、やがて広い視野からの思う存分の意見交換、又、先生方に意見を頂き、親と教師の意志の疎通を計る事ができ、懇談会の大切さを痛切に感じ一人でも多くの方に出席して頂きたく思いました。

論議し、現状を充分把握してPTA活動方針に沿って活動していきたいと思っておりますので会員の皆様の一層の御協力をお願い致します。



なごやかな学級懇談会風景

## 環境整備部

森 隆男

PTA奉仕作業に関するアンケートは大変興味深いものがありました。「学校内の作業は、生徒、先生がすべき」、「惰性の奉仕作業は反対」、「先生は校内、私達はあついで野外、耐えられない」、「奉仕作業だから半強制的方法はおかしい」等の意見が出されておりました。貴重、かつ大変残念なご意見だと思えます。子供達が健全に育成されていく事を望まない親は誰一人としていません。そして子供達の健全育成の為にその生活環境は整備されていかねばなりません。そして、そもそも生活環境を良くしていくという事は大変な労力を



話題を呼んだ奉仕活動  
でも学校はきれいになった

要するのではないでしょうか。先生、生徒、そして家庭が協力しなければ困難な課題ではないでしょうか。

今回の環境整備活動は、作業も通じての親同士の協調とダベリング、親睦の大変良い機会でもありました。しかし残念な事は、出席率が70%をも下回った事です。この出席率をこれ以上悪くしてはいけないと思います。

「親がボツラの事を思い学校を良くしてくれ。一生懸命になつてくれた。」こつした事実を子供達が目にする事は子供達自身の成長にとつても大変意義ある事のように思われます。

登校拒否、校内暴力等が社会問題となつている今日、PTA活動の活性化が全国的な課題となつている様です。PTA役員の皆様が日々努力を積み重ねられておりま

しても、私達家庭の協力なくしてPTA活動は成り立たない事は、誰にも理解できることです。

先生と子供達、そして私達がか力を合わせて、子供達の生活の場である学校の環境をもつともつと良くと行こうではありませんか。子供達の前途ある将来のために、そして育成者としての先生と私達の親睦をより深めるために。

## 広報部

部長 林 茂彦

今年度の広報活動を開始して、既に7ヶ月以上の月日が経過しております。この間、広報紙「けやき第34号」を発行すると共に、森会長の就任所信表明の意に沿つて

「総会」や「地区懇談会」等の主要な事業活動については、その内容を適宜総括し、若干の所見を加えて「けやき増刊号」として発行し、会員の皆様への広報活動に鋭意努力してまいりました。

今後、PTA活動を少しでも高めるために、各種専門部の活動を紹介したり、学級や地区の活動の様子をお知らせしてまいりたいと思いますが、単なるお知らせや報告だけでなく、活動の芽を育て活発にし教育世論づくりをめざす広報活動も展開していくつもりです。

これまで、機会あるごとに再三



高出席率を誇る今年の広報部会の面々

アピールしてまいりましたが、学級PTA」と「地区PTA」はPTA活動に於ける車の両輪であり、活動の芽をつくり、生み出すところ。親と教師がその立場のちがいを超え(実際は、なまやさしいことではなく、克服しなければならぬ)互いの壁がある、互いに知り合い、信頼しあえる間柄になり、同時代を生きるおとなの仲間として、子どもしあわせのために教育責任を分けあう、そういったPTAの理想に少しでも近づける様、PTA活動の要である広報活動を通して、親や教師みんなの願いを結んでまいりたいと思っております。

広報紙の紙面は会員であるあなたのもので。全会員のコミュニケーションの場として、御利用下さい。責任ある御意見お待ちしております。



# 新クラブ紹介



後期から新しいクラブが発足しました。サッカークラブと科学クラブです。そこで、それぞれのクラブ紹介をしていただきました。

## サッカークラブ紹介

顧問 古市 保美

男の子が33人女の子が9人のクラブである。サッカーに関して言えば、男女の差が歴然としているので、少しルールを変えてやっている。例えば、女の子がシュートを入れたら3点にするとかいう具合である。

やっていることは、試合が中心である。練習は終了前の10分間だ



けである。言ってみれば、試合はつかりしているといつていい。先日の二班と四班の試合は面白かった。一班はこれまで二戦二敗の戦績で、四班はというと、一勝一分の負けなしでここまでリーグ戦をすすめてきた。

先に点を取ったのは四班。杉山中、森たちがチャンスを作り、市川にわたったときはゴール前ノーマーク。しかもキーパーもいないというのだから楽々ゴールだった。「これは実力がちがうわ。」と思っていた。終了一分前になった。そのとき、河本のつけたボールが相手のゴール前までとんだ。待ちうけていたのは中山(女)だった。こんしんの力をこめてつけたボールは、コロコロと地面を力なくころがった。強いシュートを予想していた四班はこのシュートに完全に虚をつかれた。野球でいえばチェンジアップである。当然空振りをしてしまう。この一発で二班は逆転勝ちをおさめたのだ。女子の得点は三三というルールから。

クラブが終了した後、女子が熱心に練習にうちこんでいた。すごいキック力だったのでおどろいて私は見ていたが、曰くその強さを知っている他の男子は一向に感動しなかった。

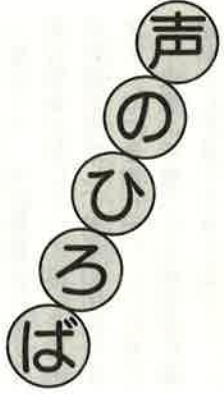


## 科学クラブに入つて

六年一組 小関 泰之

僕は、後期のクラブを選ぶとき、「科学クラブ」があるのを見て、「やったー」と思いました。僕は、理科の実験が大好きだからです。だから、第一希望は、すぐに決まってしまうました。

今日はどんな実験をするのかと胸をわくわくさせて、第一回目をやりました。そうしたら、実験はしないで、部長や副部長を決めたり、これからのことを決めるだけでした。「あーあ、なんだ。つまらん」と思っていたら、なんと、僕が部長になってしまったのです。ぼけーとしていた僕はびっくりして目が覚めました。それから、これからのことを聞いたんだけど、僕が思った感じでは



は、実験より、遊び(あそび)の方が多いいんじゃないかなーと思います。最後のほうで作るかもしれない「わたがし」、早く食べたいなーとか思ってた楽しみにしています。今度作るのは、「スライム」です。いちごのにおいを付ける予定です。何か気持ち悪そうで、おもしろそうだから、楽しみです。

運動会の後片づけを見ていて感じたことです。先生と子供たちだけで一生懸命やっていました。特に机・いすの片づけは、ついた土を雑巾でぬぐわなければならぬ分、余計大へんだったように思います。私たち親の方も、積極的に後片づけをしたらどうかと思います。そうすれば、先生、親子のふれ合いの一つになると思っています。

## 近況報告

●末澤先生、九月十八日に長男誕生。名まえは宏泰です。おめでとーうございませう。

●鈴木先生、九月一日より育児休暇から復帰しました。

## 編集後記

### 「声のひろば」への投稿募集

★みなさん。くうねるあそびしてますかあー！  
けやき第35号では、スポーツ、文化、味覚の秋等、深まりゆく秋の行事、話題を特集してみました。内容は如何でしたでしょうか。今年は紅葉の季節も比較的短く、例年より一足早く寒い冬が到来した様です。でも、なんだって健康が第一。みなさん、風邪等ひかぬ様充分御注意下さいね。

★ワンポイント・アドバイス  
ねぎを細かく刻んで熱い番茶を加え、風邪の時に飲むと早く治るといわれます。硫化アリルと、熱いお茶が体の代謝を高めるため、汗がでやすくなります。万一場合は是非おためし下さい。

★今年も、後一ヶ月余りを残す時期となりました。何かと気忙しい年末ですが、交通事故、けが、そして時節柄火の元には充分気を付けてほしいと思います。

けやきでは「声のひろば」への投稿を募集中です。  
原稿は、お子さんを通して学校のポストにお届けください。無記名でも結構です。お待ちしています。

